

『見える』あんぜん事例集

第6集



気仙地区復旧・復興関連大規模建設工事
安全衛生等連絡協議会



はじめに

職場の中にはさまざまな危険・有害な状態が潜んでおり、その危険状態等は労働災害を発生させる可能性があります。

労働災害を防止するためには、その危険状態等を認識あるいは予測し、事前に適切な対策を講ずることが不可欠ですが、危険状態等は必ずしも視覚的に見えているとは限らず、認識あるいは予測が十分にできない場合があります。

これらを可視化（見える化）すれば、認識あるいは予測の可能性が広がり、労働災害の防止にも大いに役立つことができます。

人間は日常生活や仕事において、五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）から外部情報を入手しますが、五感から情報をつかむ割合は、視覚によるものが約 8 割と、目からの情報入手が大半を占めています。つまり、目に訴えかける安全対策は災害防止に有効と言えます。

当協議会では、この「見える安全活動」を、職場における危険性や有害性に係る安全管理の一手法として展開し取り組みました。

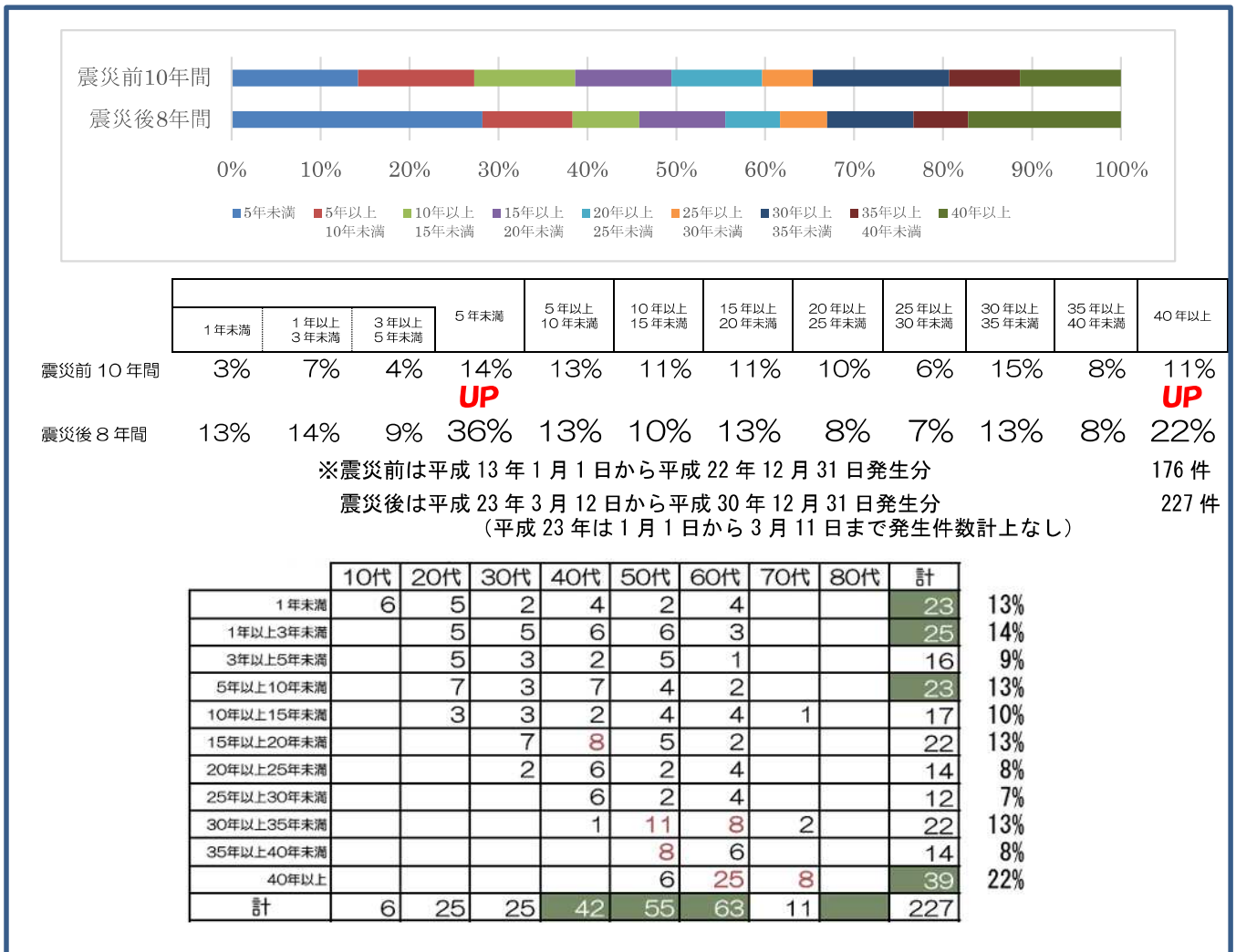
協議会員の取組みをまとめた、『見える』あんぜん事例集については、協議会員のご協力を得て今回第 6 集となりました。他社、他現場で実践されている見える安全活動を、労働災害防止対策の参考としていただければ幸いです。

令和2年2月

**作 成 : 気仙地区復旧・復興関連大規模工事
安全衛生等連絡協議会**

**監 修 : 大船渡労働基準監督署
気仙地域建設工事関係者連絡会議**

建設業従事経験期間別の労働災害の現状からみる「見える化」の有効性



- ・ 経験年数が短い場合と経験年数が長い場合と両極端で労働災害が増加している。
- ① 震災前後での労働災害にあった被災者の経験期間を比べると、「5年未満」が最も多く、また著しく増加しており、震災前の 2.5 倍以上となっている。現在、震災から 9 年が経過しようとしており、震災後から新たに建設業で働き始めた者による被災率が著しく高いことがわかる。
- ② 一方、次いで多いのが経験期間「40年以上」となっている。こちらも震災前と比べて 2 倍と著しく増加している。

有効性 1 危険状態等を認識あるいは予測するためには業務に対する一定の経験が必要ですが、東日本大震災にかかる復旧・復興工事が終盤を迎えつつも大きな割合を占めている気仙地区（大船渡市、陸前高田市、気仙郡住田町）では、人材不足の影響もあり経験年数の少ない労働者の就労がいまだに多く、被災割合も経験年数の少ない労働者では震災前と比べ 2.5 倍以上増加しています。そのため、一定の経験が無くても危険状態等を認識等できるようにすることが労働災害を減少させるために必要です。

有効性 2 年代と経験年数がともに高い労働者での被災割合も高くみられます。このような労働者は、一般的には経験も豊富で危険状態等の認識等が十分にでき得る人と言えます。しかし、弱点としては、これまでの経験からの慣れや軽視、運動機能の低下などがあります。そのため、知っているはずのことを見える化によって再認識させることが労働災害を減少させるためにも有効です。



労働災害防止のための「見える化」に積極的に取り組んでみませんか

左と右 どちらがいいですか？



【よくある災害事例】
足場内を歩行中、頭部（ヘルメット）をいきよいよくぶつけ、頸椎損傷。



リボン表示

左と右 どちらがいいですか？

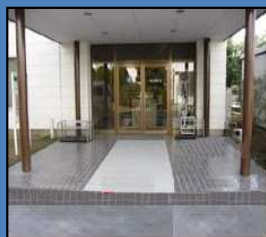


【よくある災害事例】
後進してきた建設機械にひかれ、死亡。



看板設置

左と右 どちらがいいですか？



【よくある災害事例】 転倒災害。



社内通路の安全見える化



手前右側通行
危険注意
スリッパ注意
玄関には、スリッパ注意や段差注意などの注意表示
タイルも滑り止め

左と右 どちらがいいですか？



【よくある災害事例】 架空線切断事故。

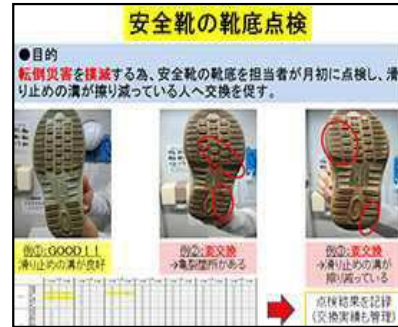


『見える化』はさまざまな視点から取り組むことができます

危険箇所への直接・間接的な『見える化』



判断基準の『見える化』



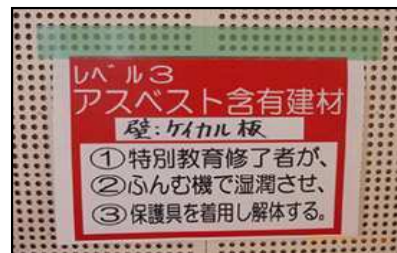
危険範囲の直接・間接的な『見える化』



レベル (度数) の『見える化』



情報の『見える化』



ルールの『見える化』



人の『見える化』



手順などの『見える化』



意識高揚の『見える化』



『見える』あんぜん事例集第6集の作成について



1. これまでの経過

平成25年4月から開始した「気仙地区復旧・復興関連工事大規模建設工事安全衛生等連絡協議会」の活動の成果を残すことを目的に『見える』あんぜん事例集の作成に取り組んできました。

2. 平成29年2月24日「気仙地域建設工事関係者連絡会議」を設立（令和元年度は設立3年度目）

構成員（平成31年度） 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所大船渡維持出張所、同東北国営公園事務所、岩手県沿岸広域振興局大船渡農林振興センター、同大船渡水産振興センター、同大船渡土木センター、大船渡市、陸前高田市、住田町、独立行政法人都市再生機構岩手震災復興支援本部陸前高田復興支援事務所、一般社団法人岩手県建設業協会大船渡支部、一般社団法人陸前高田市建設業協会、**気仙地区復旧・復興関連大規模工事安全衛生等連絡協議会**、陸前高田大船渡地区工事安全協議会、高田松原国営追悼・祈念施設災害防止協議会、広田地区道路土砂調整会議、六ヶ浦地区工事連絡協議会、大船渡警察署、大船渡労働基準監督署（事務局）

＜平成30年度の会議での統一的取組＞（事務連絡で発出）

(1) 労働災害の防止

- ① 毎月10日を「気仙地域ゼロ災の日」に指定し、一斉パトロールの実施・・・全構成員
- ② 「『見える』安全事例集」（第1集～第3集）の展開・・・エリア協議会
- ③ 「『見える』安全事例集」（第5集）の作成と新たな編集方法・・・大規模協議会

(2) 過重労働解消の取組み

など

＜令和元年度（平成31年度）の会議での統一的取組＞（事務連絡で発出）

(1) 労働災害の防止

- ① 毎月10日を「気仙地域ゼロ災の日」に指定し、一斉パトロールの実施・・・全構成員
- ② 「『見える』安全事例集」（第1集～第5集）の展開・・・エリア協議会
- ③ 「『見える』安全事例集」（第6集）の作成と新たな編集方法・・・大規模協議会

(2) 過重労働解消の取組み

など

3. （見える安全事例集第5集作成にあたっての）取組方法について

これまで第1集から第3集までは自由提案でしたが、第4集以降は課題を示させていただいておりました。

＜第6集の『課題』＞

労働災害発生状況等を踏まえ、第6集の見える化事例集作成に当たる課題を次の内容としました。

- ① 『墜落・転落』災害防止のための見える化
- ② 『重機等との接触』災害防止のための見える化
- ③ 『熱中症』を予防するための見える化
- ④ 『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
- ⑤ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

①『墜落・転落』 災害防止のための見える化

- ◆ 連絡協議会が発足した平成 25 年 4 月から平成 31 年 3 月の 6 年間のうち大船渡労働基準監督署管内の建設業における休業 4 日以上労働災害は 179 件ありました。
179 件のうち「墜落・転落」が 57 件で全体の 32%と最も多く発生しております。
- ◆ 県内の建設業でも、この「墜落・転落」が最も多く発生しております。

②『重機等との接触』 災害防止のための見える化

- ◆ 連絡協議会が発足した平成 25 年 4 月から平成 31 年 3 月の 6 年間のうち大船渡労働基準監督署管内の復旧・復興工事での「激突され」「はさまれ・巻き込まれ」22 件の中には「重機等との接触」によるものが複数含まれております。

③『熱中症』 を予防するための見える化

- ◆ 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」が展開中です。
冬季は暖冬でもありましたので、夏季も例年より暑くなる可能性があります。
今シーズンこそは熱中症発症者が出ないように取り組みをお願いします。
- ◆ 昨年は、神奈川県において熱中症による死亡災害で初めて書類送検がされるという事例がありました。

④『労働災害・自然災害』 発生時の対応の見える化

- ◆ 労働災害発生時や自然災害発生時の連絡先や連絡方法及び避難経路や避難手段についての取り組みをお願いします。
- ◆ 平成 31 年 2 月 26 日、政府の地震調査研究推進本部が今後 30 年以内の地震の発生確率を次のとおり予想しています。

	M7. 9程度	M7. 0～7. 5程度	M8. 6～9. 0 (津波)
青森県東方沖及び岩手県沖北部	5～30%	90%程度以上	
岩手県沖南部		30%程度	
青森県東方沖から房総沖にかけての海溝寄り			30%程度

⑤自由課題

- ◆ ①～④以外にも各現場で問題意識を持ち積極的に見える化に取り組んでいただきたいと思います。

事例集

(第6集)

全 1 2 5 事例

- | | |
|------------|-----------------------|
| 「墜落・転落」 | …事例 1～事例 17 (17 事例) |
| 「重機等との接触」 | …事例 18～事例 37 (20 事例) |
| 「熱中症」 | …事例 38～事例 63 (26 事例) |
| 「災害発生時の対応」 | …事例 64～事例 87 (24 事例) |
| 「自由課題」 | …事例 88～事例 125 (38 事例) |

「墜落・転落」

事例 1 ～事例 17（17 事例）

事例 1

■ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 労働災害・自然災害 □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル

「安全帯着用」の見える化による監視



事例の概要

安全帯使用ゾーンにて安全帯を着用しているか否かをLEDの点滅により確認出来るようにした。これにより安全帯使用の啓蒙を図ると共に、現場指揮者、周辺の仲間が着用について注意監視出来るようになりました。

事例2

■墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	転落防止柵の視認性向上と落下防止
	
事例の概要	転落防止柵設置後、ラッセルネットを取り付けることで、開口部の視認性向上と資材、工具等の落下防止を兼用


事例3

■墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化


タイトル	『墜落・転落』災害防止のための見える化
	
事例の概要	足場出入り口脇に注意事項が目につきやすいように看板を設置した。

事例4

■ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高年齢労働者・未熟練労働者 □ 役割・資格など □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	安全帯のチェックと使用の見えるか
	
事例の概要	安全帯チェックシートによる点検及びフック蛍光シールでの周囲の目による意識の向上

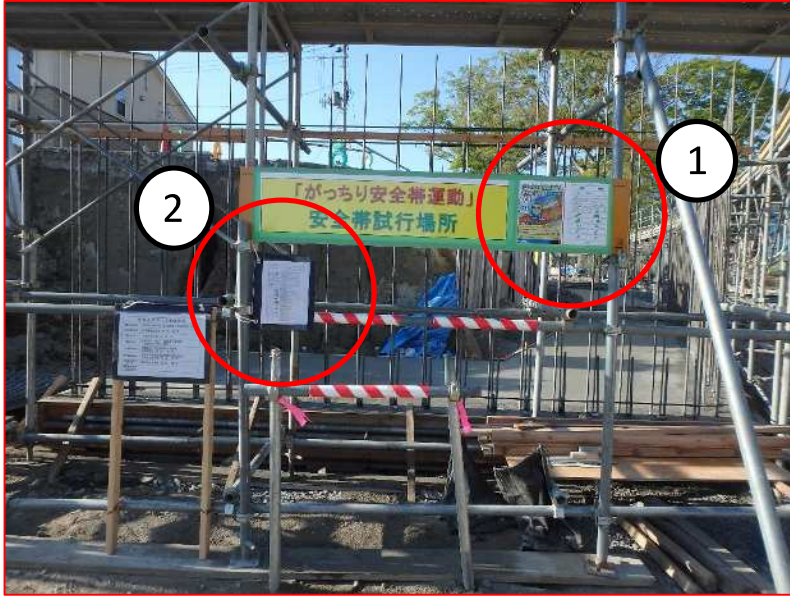
事例5

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化（危険体感出前教室の現場実施）
	
事例の概要	清水建設(株)東北支店安全環境部の主催で、作業所に出向き、①墜落・転落 ②挟まれ・巻き込まれ③激突④飛来落下⑤保護具の性能確認等を作業員に体感してもらい安全意識の高揚を目的とした教育である。

事例6

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化
	
事例の概要	第三者に接する作業箇所への立入禁止柵と石積み作業箇所での転落防止柵(手摺り・親綱)を設置した。


事例7

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(安全帯試行場所の設置)
	
事例の概要	現場内の足場設置箇所に安全帯試行設備を設置し当該作業者は作業開始前に安全帯の点検と試行を行うよう指導した。

事例 8

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化
	
事例の概要	掘削開口部の転落防止柵と法面養生ネットの設置。

事例 9

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(安全帯試行場所の設置)
	
事例の概要	<p>①『がっちり安全帯運動』特別強化期間ポスター及び点検基準表。 ②点検チェックシートを試行場所に掲示。</p>

事例 10

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(法肩からの転落防止)
	
事例の概要	法肩にカーコーンとのぼり旗(路肩注意)を設置して転落防止を行った。

事例 11

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(安全帯試行場所の設置)
	
事例の概要	店社パトロール(平田上席)における試行状況。

事例 12

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(マンホールの開口養生)
	
事例の概要	マンホール開口部の転落防止柵の設置(単管手摺りと養生ネットのダブルセーフティー)

事例 13

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(掘削開口部の転落防止柵)
	
事例の概要	立坑に於ける転落防止設備と昇降設備(安全ブロック設置)の設置。 ①地山掘削・土留め支保工作業主任者の職務看板を掲示。

事例 14

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(掘削開口部の転落防止柵)
	
事例の概要	掘削開口部の転落防止柵の設置(単管手摺りと養生ネットのダブルセーフティー)

事例 15

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(法面からの転落防止)
	
事例の概要	法面作業時の親綱の設置及びリップ付き安全帯の使用のダブルセーフティー。

事例 16

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(工事車両への昇降設備)
	
事例の概要	ユニック車専用の昇降設備を使用。(2タイプ)

事例 17

タイトル	①『墜落・転落』災害防止の見える化(工事車両への昇降設備)
	
事例の概要	モルタル練り専用ダンプ荷台への昇降設備と荷台からの転落防止柵(単管手摺りの設置)。荷台作業時の安全帯の使用を指導した。

「重機等との接触」

事例 18～事例 37（20 事例）

事例 18

墜落・転落 重機等との接触 熱中症 高年齢労働者・未熟練労働者 役割・資格など 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	重機旋回範囲内の立入禁止
	
事例の概要	重機旋回体背面にバーを設置し、不意に近づいたときでも視認でき、先にバーが接触することで挟まれ災害を防止

事例 19

□ 墜落・転落 ■ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高齢労働者・未熟労働者 □ 役割・資格など □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	ローラー後進時の接触防止
	
事例の概要	ローラーの背面にバーを設置して視認性を向上、近接センサーを設置し音声によりローラーの接近を知らせ、接触事故を防止

事例 20

□ 墜落・転落 ■ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 労働災害・自然災害 □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	クレーン作業近接区域通行時のオペレーターへの確実な合図	
 <p data-bbox="582 1839 735 1921">発信側(通行者) インターホン 設置</p> <p data-bbox="1099 1637 1278 1688">受信側(クレーンOP) インターホン設置</p> <p data-bbox="1129 1854 1262 1883">インターホン</p>		
事例の概要	通常、重機やクレーン作業近接区域を通行する際は「グーパー」運動をルール化して取組んで来たが重機の向きやエンジン音等によりオペレーターが通行者の合図に気付かなかつたり、気付くのが遅くなつたりしていた。通行者を即時認識できるように安価なインターホンを設置しオペレーターが気付いた時点で「グーパー」運動をしストレスなく確実に通行出来るようにしました。	

事例 21

□ 墜落・転落 ■ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高年齢労働者・未熟労働者 □ 役割・資格など □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル グーパー運動の看板見える化の改善



より一層合図をハッキリ

事例の概要

グーパー運動、従来の運動からより一層安心して立入れるよう合図を増やして合図をハッキリさせた

事例 22

タイトル	重機等の接触防止のための見える化
 	
事例の概要	見通しが悪い所へカーブミラーを設置し、目視できるようにした。

事例 23

□墜落・転落 ■重機等との接触 □熱中症 □労働災害・自然災害 □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

<p>タイトル</p>	<p>クレーン作業近接区域通行時のオペレーターへの確実な合図</p>
 <p>The image shows a construction site with a crane. A sign with a red hand icon and a green hand icon is visible. The sign text includes '止まって 了解' (Stop and Acknowledge) and 'ボチツとな' (Beep). Below the sign, it says '重機等を通る時はボタンを押して下さい' (When passing heavy machinery, please press the button). Two views of the crane cab show the intercom system installed. One view shows the intercom button on the control panel, and the other shows the intercom speaker. Labels in Japanese identify the '送信側(通行者)インターホン設置' (Transmitter side (passer) intercom installation) and '受信側(クレーンOP)インターホン設置' (Receiver side (crane operator) intercom installation).</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>通常、重機やクレーン作業近接区域を通行する際は「グーパー」運動をルール化して取組んで来たが重機の向きやエンジン音等によりオペレーターが通行者の合図に気付かなかったり、気付くのが遅くなったりしていた。通行者を即時認識できるように安価なインターホンを設置しオペレーターが気付いた時点で「グーパー」運動をストレスなく確実に通行出来るようにしました。</p>

事例 24

□墜落・転落 ■重機等との接触 □熱中症 □労働災害・自然災害 □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

<p>タイトル</p>	<p>クレーン後方安全確認用センサーの設置</p>
 <p>The image shows a yellow Hitachi Sumitomo crane. A red dashed oval highlights the sensor installation on the rear of the crane. The text 'センサー設置(3か所)' (Sensor installation (3 locations)) is visible. Two close-up views show the sensors, which are red and white circular devices. One view shows the sensor with the text '発光、アラーム音発生中!!!' (Emission, alarm sound occurring!!!) in red. Another view shows the sensor with the text 'HITACHI SUMITOMO' visible.</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>クレーン後方部との接触防止の為、旋回時及び接近時に、人、物を感知し音と光で周囲への注意喚起を行えるよう安価な人感センサーを設置し接触防止を図りました。</p>

事例 25

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化
	
事例の概要	バックホーの後部に監視カメラを設置し、オペレーターがモニターを見て後方確認が容易にできるようにした。

事例 26

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化
	
事例の概要	運転席から見る、カメラの後方のディスプレイ状況。

事例 27

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化(インフラ事故防止)
	
事例の概要 (継続)	規制ゲートに鯉のぼりの旗(5月)を設置し、イメージアップを図った。

事例 28

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化
	
事例の概要 (継続)	既設構造物の監視と既設構造物の養生を行って重機接触災害の注意喚起を行った。

事例 29

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化(インフラ事故防止)
	
事例の概要 (継続)	重機走路の指定及び重機停止位置の設置と注意看板の設置を行った。

事例 30

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化(インフラ事故防止)
	
事例の概要 (継続)	重機・ダンプ走路の10m手前に高さ規制ゲートと看板を設置し、注意喚起を行った。

事例 31

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化
	
事例の概要	既設構造物の養生とのぼり旗の設置を行って重機接触災害の防止を図った。

事例 32

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化
	
事例の概要	工事車両(ダンプ)と連絡車の走路区分を明確にして、場内での接触事故防止を図った。又、合流地点には「合流注意」の看板を設置した。

事例 33

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化(インフラへの注意喚起シールの貼付)
	
事例の概要 (継続)	現場搬入の全バックホー(約200台)にインフラ近接作業時、オペレーターに注意を持たせる目的でシールを貼付した。

事例 34

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化(インフラへの注意喚起シールの貼付)
	
事例の概要 (継続)	シールを大・小2種類作成し、0.45m3以上は大・0.25m3以下は小を貼付した。

事例 35

タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化(注意喚起シールの貼付)
	
事例の概要 (継続)	架空線近接作業中の重機に「監視員の配置と架空線近接作業中」の注意喚起シールを貼付した。

事例 36

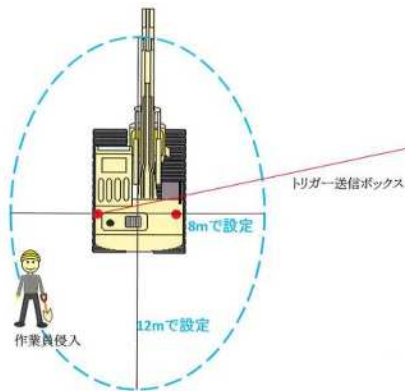
タイトル	②『重機等との接触』災害防止の見える化
	
事例の概要 (継続)	掘削時、掘削の定規に立入禁止の表示をして、合番作業員と重機との接触防止を図った。

事例 37

□ 墜落・転落 ■ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高齢労働者・未熟労働者 □ 役割・資格など □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	作業車両と作業員との接触防止装置
<p>『ヘルマシステム』（別添資料）</p> <p>① 使用状況写真（1枚）</p> <p>② システム概要カタログ（2枚）</p>	
事例の概要	<p>バックホウと作業員との接触防止対策として、バックホウと作業員がお互いに近づいたら、作業員にはヘルメットに装着したランプが点灯し、オペレーターには運転席内のランプの点灯とブザー音にて所定の範囲への侵入を知らせる。</p>

ヘルマシステム採用状況



トリガー送信ボックス



作業員侵入



通常時



運転席内異常なし



緑ライト点滅



フェイスランプ異常なし

作業員侵入時



運転席内赤ランプ点灯
ブザー音発生



赤ライト点滅
バックホウオペレーターがどの作業員が侵入してきたか識別





フェイスランプ点灯
作業員がバックホウ作業半径内に侵入したことを認識

「熱 中 症」

事例 38～事例 63 (26 事例)

事例 38

墜落・転落 重機等との接触 熱中症 労働災害・自然災害 自由課題

タイトル	脱水症状のチェック
	
事例の概要	熱中症予防として、トイレに尿の色で脱水症状をチェックできる表を掲示し、各人がその都度チェックできるようにする。

事例 39

タイトル	『熱中症』を予防するための見える化
	
事例の概要	手洗い場脇に熱中症対策グッズを置いておき、いつでも持ち出せるようにした。

事例 40

タイトル	『熱中症』を予防するための見える化
	
事例の概要	移動式クレーン内へ熱中症対策キットを配備した。


事例 41

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 ■ 熱中症 □ 高齢労働者・未熟練労働者 □ 役割・資格など □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	熱中症予防するための見えるか
	
事例の概要	休憩所入口に“製氷機”“冷水機”“塩あめ”設置案内と注意喚起の掲示をして熱中症予防対策と意識の向上

事例 42

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 ■ 熱中症 □ 労働災害・自然災害 □ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	「パーソナルサーモグラフィカメラ」による温度管理
	
事例の概要	サーモグラフィーにより施工場所、作業員等の温度変化が色別により確認出来、それにより熱中症対策(散水、休憩、水分補給等)を講じる事が出来るようになりました。又、この装置はスマホで操作出来スマホさえあればいつでも誰でも使用できる為、作業場所毎に常時確認する事が出来ます。

事例 43

□墜落・転落 □重機等との接触 ■熱中症 □労働災害・自然災害 □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	気温上昇時、注意喚起の表示
事例の概要	作業中、気温が上昇するとヘルメットに添付したステッカーが「熱中症注意」の文字が浮かび上がり、気温の上昇を周囲にいる職員、作業員が確認する事が出来、それに合わせて熱中症対策(休憩、水分補給等)を取る事が出来るようにしました。

事例 44

□墜落・転落 □重機等との接触 ■熱中症 □高齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	作業員休憩所
事例の概要	作業員休憩所に「よしず」と「ミストシャワー」を設置 また、七夕飾りとプランター設置により休息感を増す


事例 45

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(熱中症指数モニターを設置)
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
事例の概要 (継続)	事務所前朝礼広場の安全掲示板に熱中症予防の掲示を行い、朝礼時に熱中症に対する注意喚起を行った。

事例 46

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(熱中症指数モニターを設置)
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
事例の概要 (継続)	工区朝礼広場(最大時7箇所)全箇所の掲示板に設置し、KY時の体調確認と合わせて管理を行った。

事例 47

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(熱中症計と小冊子の配布)
	
事例の概要 (継続)	JV職員と全職長に2種類の熱中症計を配布した。(200個を用意した)又、「めざそう 熱中症ゼロ現場」の小冊子を全職員及び全作業員に配布をして、熱中症対策の意識の高揚を図った。(小冊子1,500冊を用意した)

事例 48

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(小冊子の配布)
	
事例の概要 (継続)	2019年版「ふせごう 現場の熱中症」の小冊子を全職員及び全作業員に配布をして、熱中症対策の意識の高揚を図った。(小冊子1,000冊を用意した)

事例 49

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(飲料水の支給)
	
事例の概要 (継続)	毎年6月初旬から9月末(今年は10月中旬まで)にかけて、飲料水と製氷を支給している。

事例 50

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(冷房室の貸与)
	
事例の概要 (継続)	毎年6月初旬から9月末(今年は10月中旬まで)にかけて、飲料水と製氷を支給している。

事例 51

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(冷房室の貸与)
	
事例の概要 (継続)	夏場は5間×7間(35坪)の休憩室を用意して、常に冷房をきかせてある。

事例 52

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(熱中対策応急セットの配置)
	
事例の概要 (継続)	事務所及び現場休憩所に「熱中対策応急セット」を配置している。(60個を貸与)

事例 53

<p>タイトル</p>	<p>③『熱中症』を予防するための見える化(体調管理チェック)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="236 286 762 667"> </div> <div data-bbox="778 533 1257 891"> </div> </div>	
<p>事例の概要</p>	<p>トイレに「尿の色で脱水状態をチェックしましょう」のステッカーを貼って、熱中症に対する体調管理を行った。</p>

事例 54

<p>タイトル</p>	<p>③『熱中症』を予防するための見える化(冷房車両の許可)</p>
<div style="text-align: center;"> </div>	
<p>事例の概要</p>	<p>夏場に限り「冷房中 休憩車両」のステッカーを発行して、車内を冷房して休憩するようにした。</p>

事例 55

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(飲料水の現地保管)
	
事例の概要	支給された飲料水を各自クーラーボックス等に保管して休憩時に作業員に支給している。

事例 56

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(日除け場所の設置)
	
事例の概要	特に誘導員に対しては日よけパラソルを用意して貸与している。(現在50本を貸与)

事例 57

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(日除け場所の設置)
	
事例の概要	現場内に日除けテントを張って休憩場所を設置した。(今泉地区中井)

事例 58

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(日除け場所の設置)
	
事例の概要	現場内に日除けテントを張って休憩場所を設置した。(今泉地区公園②)

事例 59

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(冷房室の提供)
	
事例の概要 (継続)	休憩所にエアコンを設置して室内の冷房を行った。

事例 60

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化
	
事例の概要	休憩所内に「熱中症指数表」と「管理表」を貼付し、注意喚起を図った。

事例 61

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(熱中症指数モニターの設置)	
		
事例の概要 (継続)	現場各所に「熱中症指数モニター」を設置した。	

事例 62

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(日除け場所の設置)	
		
事例の概要	現場内に日除けテントを張って休憩場所を設置した。(高田地区JR法面西)	室内はエアコンで冷房。

事例 63

タイトル	③『熱中症』を予防するための見える化(日除け場所の設置)	
		
事例の概要	現場内に日除けテントを張って休憩場所を設置した。(高田地区JR法面東) 室内はエアコンで冷房。	室内は

「災害発生時の対応」

事例 64～事例 87（24 事例）

事例 64

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 ■労働災害・自然災害 □自由課題

タイトル

津波警報発令時の避難経路・避難場所の掲示



事例の概要

朝礼会場の安全掲示板に、津波警報発令時の避難経路と避難場所を掲示し、作業員全員に周知徹底を図る。

事例 65

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	休憩所内への避難場所地図と写真・作業中止基準の掲示。

事例 66

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 ■労働災害・自然災害 □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	災害発生時の各種保管場所の明示
	
事例の概要	緊急資材、油液処理キット、救急箱等の配置保管場所を明示する事により災害発生時の初期行動が迅速に出来るようになりました。

事例 67

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 ■労働災害・自然災害 □各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

<p>タイトル</p>	<p>「防災情報の取得」「ハザードマップ」「津波避難経路」の掲示</p>
<p>安全掲示板掲示状況</p> 	
<p>事例の概要</p>	<p>現場要所に天候等確認する為の「防災情報取得先」の掲示、交通災害等防止の為の「ハザードマップ」の掲示及び津波発生時の「津波避難経路」の掲示を行いそれぞれの情報を見える化し周知しました。</p>

事例 68

<p>タイトル</p>	<p>④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(坑内環境測定)</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>入坑前に環境測定(酸素・硫化水素・可燃性ガス)を測定して、坑口に表示した。昼休み後の作業開始前にも測定を実施し、坑口に表示した。(今泉地区)</p>

事例 69

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(坑内環境測定)
	
事例の概要	<p>入坑前に環境測定(酸素・硫化水素・可燃性ガス)を測定して、坑口に表示した。昼休み後の作業開始前にも測定を実施し、坑口に表示した。</p>

事例 70

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(坑内環境測定)
	
事例の概要	<p>入坑前に環境測定(酸素・硫化水素・可燃性ガス)を測定して、坑口に表示した。又、入坑前にコントラファンで坑内の換気を行った。(高田地区平地部東)</p>

事例 71

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(坑内環境測定)
	
事例の概要	入坑前に環境測定(酸素・硫化水素・可燃性ガス)を測定し、坑口に表示した。又、入坑前にコントラファンで坑内の換気を行った。(今泉地区)

事例 72

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(坑内環境測定)
 	
事例の概要	入坑前に環境測定(酸素・硫化水素・可燃性ガス)を測定して、坑口に表示した。又、入坑前にコントラファンで坑内の換気を行った。(高田地区平地部西)

事例 73

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(避難マニュアルの作成)
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="300 293 737 898"> <p>避難マニュアル 災害のときの避難の手引き</p> <p>清水・巻坂・青木あすなろ・オリエンタルコンサルタンツ・国際建築 彦前岡山市震災復興事業共同企業体</p> </div> <div data-bbox="783 300 1220 904"> <p>高田地区津波防災マップ</p> </div> </div>	
事例の概要 (継続)	作業所で「避難マニュアル」を作成し、工事の進捗にあわせて概ね年1回最新版に更新し、職員・職長に配布して訓練を実施している。又、事務所受付カウンター及び現場詰所等に設置し、希望者に配布している。

事例 74

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(避難マニュアルの作成)
事例の概要	JV宿舎食堂にも「津波防災マップ」及び「土砂災害・洪水ハザードマップ」を掲示して災害に対する意識の高揚を図っている。


事例 75

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
事例の概要	JV宿舎食堂等に「緊急連絡体制表」と「自営消防隊編成表」を掲示している。

事例 76

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(ハザードマップの作成)
	
事例の概要	現場内安全掲示板に各地区の「インフラ ハザードマップ」を作成し掲示を行っている。概ね、1か月毎に更新。(今泉地区)

事例 77

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	①架空線・水道のハザードマップ ②ダンプトラック安全走路のハザードマップ ③沈砂池等のハザードマップ(今泉地区)

事例 78

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	発電機の使用箇所には「アースの設置」と「消火器の配置」をルール化している。


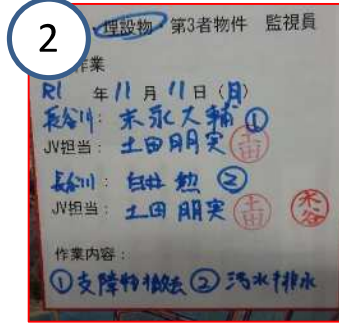
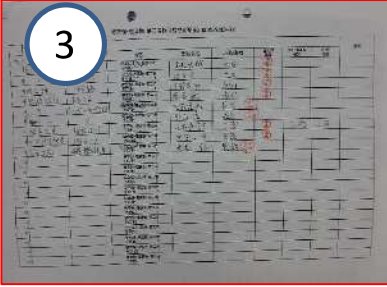
事例 79

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	河川に近接する作業場所に「オイルフェンス」を用意して緊急時対応に備えている。

事例 80

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要 (継続)	河川に近接する作業場所に「油止め蔵」(油流出緊急グッズ)を用意して緊急時対応に備えている。(吸着マット・吸着フェンス・粉末中和剤・消火器等を収納)

事例 81

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3</p> </div> </div>	
事例の概要	<p>インフラ事故防止の作業所ルールで、毎日の作業に於けるインフラ監視体制のチェックを行っている。</p> <p>①インフラハザードマップで位置を確認 ②インフラの種類・JV担当者・監視員の氏名・作業場所の確認。 ③作業前・作業完了後の確認表(サイン及び押印)。</p>

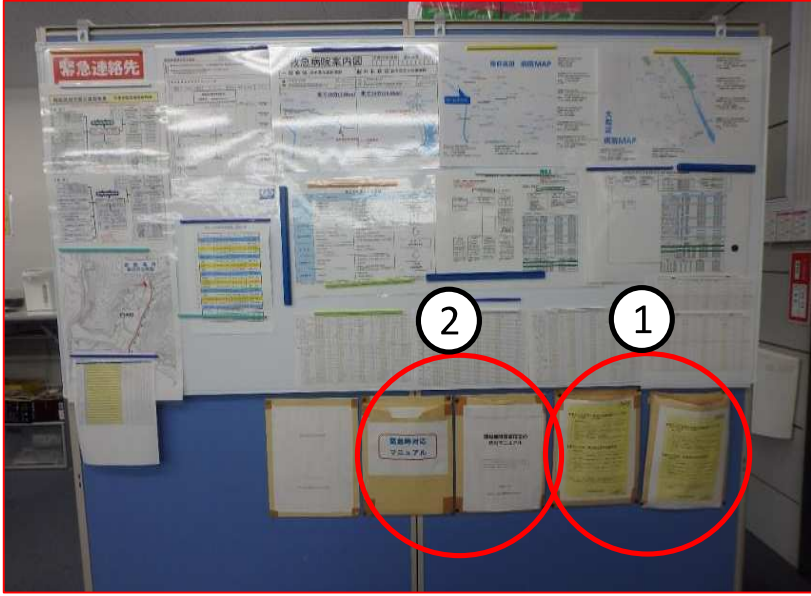
事例 82

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> </div>	
事例の概要	<p>事務所周内内に「緊急防災資材倉庫」を設置して、緊急時の対応に備えている。</p> <p>①資材受け払い管理簿</p>


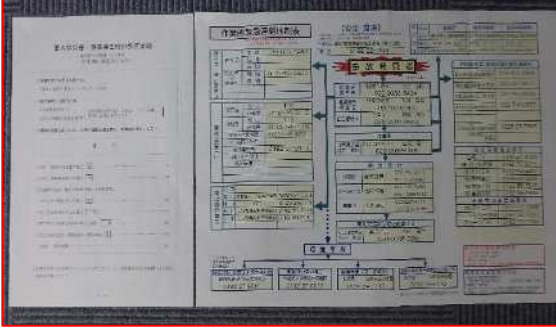
事例 83

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	事務所用地内に「塩カル」を用意して、特に冬期間の凍結・解凍の対応に備えている。又、現場各所の倉庫にも配備している。

事例 84

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	事務所内の緊急対策ボードに社内規定による「オレンジ封筒」を掲示し、中には 災害・事故発生時の官庁・得意先・社内等への連絡マニュアルが収納されている。

事例 85

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	<p style="text-align: center;">①</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">災害発生時の処置要領と作業所緊急連絡体制表</p> </div> 
事例の概要	①災害時対応初動処置チェック表 ②緊急時対応マニュアル(事務所用・宿舎用)

事例 86

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化
	
事例の概要	第三者災害の防止。工事区間への立入禁止柵の設置。

事例 87

タイトル	④『労働災害・自然災害』の発生時の対応の見える化(緊急車両の配備)
	
事例の概要	4tトラック3台に、発電機・水中ポンプ・看板等を搭載し、大雨等の災害時に出動できるように事務所駐車場に待機してある。

「自由課題」

事例 88～事例 125（38 事例）

事例 88

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など ■各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

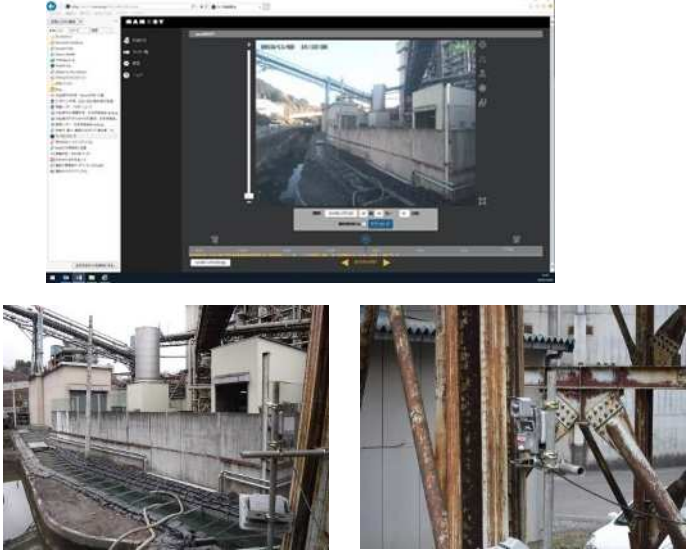
タイトル	管理橋上作業エリア区画の見える化
------	------------------



事例の概要	管理橋上の区画材の色を緑とオレンジのみとし、資機材置場を緑、重機作業エリアをオレンジで統一し見える化を図った。
-------	---

事例 89

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など ■各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	WEB カメラによる仮設水路状況監視
	
事例の概要	<p>工事を行うため、仮設水路を設置し既設水路を移設しているため、WEBカメラを設置して流下状況をパソコンやスマートフォンによって常時監視</p>

事例 90

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □労働災害・自然災害 ■自由課題

タイトル	夜間の一般車両に対する注意喚起
	
事例の概要	<p>県道に接している作業ヤード付近は、夜間の照明が少なく、見通しも悪くなるため、反射テープ入ネットフェンス・LED 点滅灯・緑色 LED のコーンキャップを歩道側路肩に設置し、夜間通行する一般車両に対して注意喚起を促す。</p>

事例 91

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □労働災害・自然災害 ■自由課題

タイトル	ベルコンの高さ制限表示
	
事例の概要	施工範囲内に、県道を横断するように工場のベルコンが設置されている。そこで、高さ制限表示の垂れ幕を設置し、走行する一般車両へ注意喚起を促す。

事例 92

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高齢労働者・未熟労働者 □役割・資格など ■各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	近隣工場作業員への配慮
	
事例の概要	工事区域に隣接する太平洋セメント工場内のバイオマス発電所建設工事に伴い、作業員が多く通行するためH鋼バリケードを設置し歩行者通路を確保。外国人作業員が多いため英語併記の看板を設置


事例 93

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高齢労働者・未熟練労働者 □ 役割・資格など ■ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	建屋内作業通路の見える化
	
事例の概要	<p>建屋内水門設備があり通路がわかりにくい為、棚足場の単管水平材に単管カバーを取り付け、頭上養生兼作業通路表示とした。</p>

事例 94

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高齢労働者・未熟練労働者 □ 役割・資格など ■ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	第三者(病院関係者等)に対しての見える化
	
事例の概要	<p>各JV毎に職員・作業員を腕章色で区別して周囲からの区別と意識向上</p>

事例 95

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 高年齢労働者・未熟練労働者 □ 役割・資格など ■ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル 高所作業車作業に於ける挟まれ防止対策の見える化



事例の概要

高所作業車の四隅に挟まれ防止として「はさまれん棒+プラチェーン」を取り付け、上昇時の上部構造物との挟まれ防止及びブザー警告による注意喚起を行えるようにした。

事例 96

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 労働災害・自然災害 ■ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	「スクールバス停」及び「注意喚起標識」の設置
	
事例の概要	当地区の小学生はスクールバスにて通学しています。県道沿いで乗降して毎日通学していましたが、通勤時間帯で交通量が多い時間帯に利用している為、子供達の安全を図る為、また通行車両がバス停で子供達が利用している事を周知させるため「バス停」と「注意喚起標識」の設置をしました。


事例 97

□ 墜落・転落 □ 重機等との接触 □ 熱中症 □ 労働災害・自然災害 ■ 各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	「子ども110番」の認定及び運営
	
事例の概要	地域防犯の一環として「子ども110番」の申請、委嘱を受け運営している。委嘱を受け現場事務所、作業場所各所に看板を立てる事により地域住民及び子供達が認知出来る様、又、看板を視認する事により未然に犯罪を防止出来る様になりました。

事例 98

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など ■各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	ナイロンスリングの使用開始日及び吊荷重の明示
	
事例の概要	ナイロンスリングに使用開始日と吊荷重をタグで表示した

事例 99

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など ■各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	トークナビ（一旦停止の音声ナビ）
	
事例の概要	道路横断時横断者に反応し、「一旦停止」を「音声ナビ」により周知する。また、左右確認の標識と横断位置を明示。

事例 100

□墜落・転落 □重機等との接触 □熱中症 □高年齢労働者・未熟練労働者 □役割・資格など ■各現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化

タイトル	女性トイレの表示と目隠し柵
	
事例の概要	女性トイレの入り口に「女性専用」の表示と目隠し柵を設置

事例 101

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(外国人就労者向けの安全標識の掲示)
	
事例の概要	当作業所で就労するカンボジア人に対する母国語の安全標識を設置し、安全意識の高揚を図った。

事例 102

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化
	
事例の概要 (継続)	工事現場内の第三者に面する箇所に大型の安全掲示板を設置した。 2.7m×5.4m(今泉地区)

事例 103

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(吊荷移動時の注意喚起)
	
事例の概要 (継続)	吊荷移動時介錯ロープの先端に取付け、スイッチを入れると、警告音と音声で周囲の作業員に吊荷の移動中を周知できるようにした。


事例 104

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(吊荷移動時の注意喚起)
 	
事例の概要	<p>単2乾電池4本使用。玉掛後に介錯ロープの先端に取付けスイッチを入れるとピピピという警報音と「吊荷が移動中です。ご注意ください(約90デシベル)」の音声が鳴り、周囲の作業員に注意喚起をすることができる。</p>

事例 105

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(作業内容変更時の作業所ルール)
	
事例の概要 (継続)	<p>「作業内容変更時の作業所ルール」を場内各所に掲示して、追加・変更工事に対する打合せの充実を図った。(所定の打合せシートを使用)</p>

事例 106

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(過去の災害発生時の対策の励行)														
	 <table border="1" data-bbox="906 577 1200 824"> <caption>インシュロック点検色</caption> <tbody> <tr> <td>月曜日</td> <td>黄色</td> </tr> <tr> <td>火曜日</td> <td>赤色</td> </tr> <tr> <td>水曜日</td> <td>青色</td> </tr> <tr> <td>木曜日</td> <td>緑色</td> </tr> <tr> <td>金曜日</td> <td>紫色</td> </tr> <tr> <td>土曜日</td> <td>茶色</td> </tr> <tr> <td>日曜日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月曜日	黄色	火曜日	赤色	水曜日	青色	木曜日	緑色	金曜日	紫色	土曜日	茶色	日曜日	
月曜日	黄色														
火曜日	赤色														
水曜日	青色														
木曜日	緑色														
金曜日	紫色														
土曜日	茶色														
日曜日															
事例の概要 (継続)	作業開始前に高圧ホースのジョイント部を点検し、インシュロックを付けて異常の無いことを確認している。(曜日毎に色を変えている)														

事例 107

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(発電機の防音設備)
	
事例の概要	民家に近接する作業箇所の発電機に防音カバーを掛けて住民からの騒音苦情の対策を行った。

事例 108

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(地先案内看板の設置)</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>場内に地先案内看板を各所に設置した。</p>

事例 109

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(小規模工事看板の設置)</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>場内各所に小規模工事看板を設置した。①ハザードマップ ②吹き流しの角度と風速の目安 ③現地KYボード ④作業主任者の業務看板 ⑤週別ワイヤーの点検テープ看板</p>

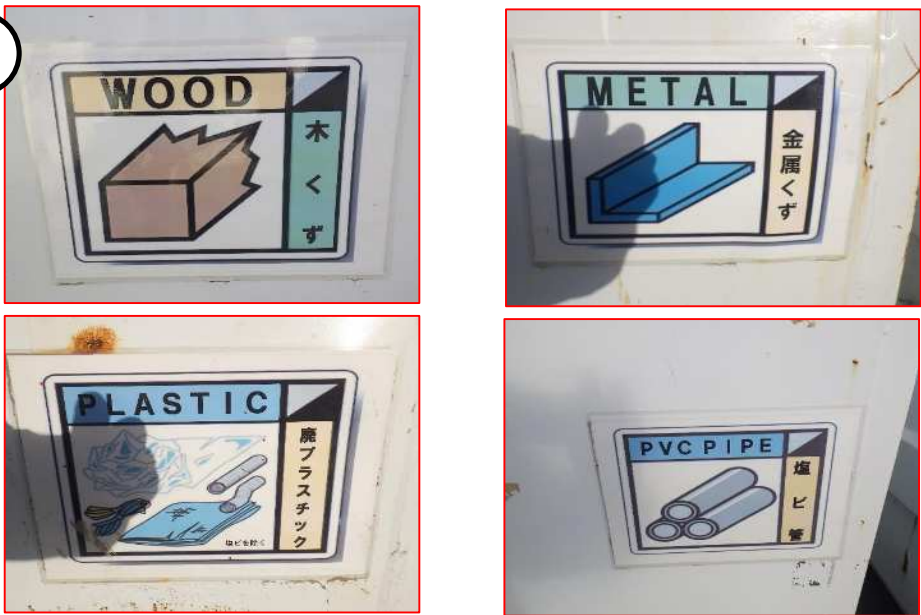
事例 110

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(保安設備設置状況)
	
事例の概要	民家・公道に近接する作業場所の安全・保安設備設置を強化した。

事例 111

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(産業廃棄物の分別化)
	
事例の概要 (継続)	産廃仮置き場の表示と分別かごの設置。

事例 112

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(産業廃棄物の分別化)
<p>1</p> 	
事例の概要	<p>かご毎に産廃種別シールを貼付して分別を明確にした。</p>

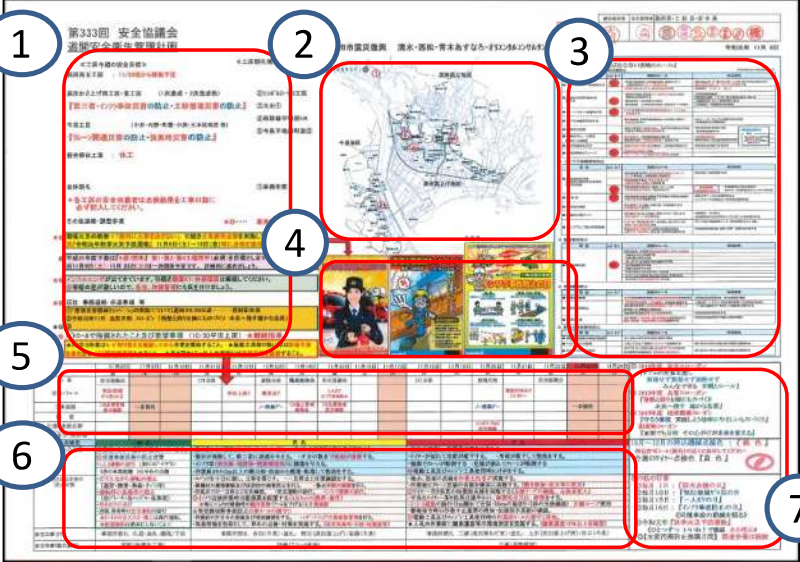
事例 113

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(女性パトロール隊の結成)
 	
事例の概要 (継続)	<p>作業所の施工班の女性(14名)によるパトロール隊を結成し、3班に分けて毎月交代で各作業場を巡回し、女性の目線で危険要因の排除及び施工環境の改善を図ることを目的とする。(平成29年6月に発足し、令和元年11月で第30回を迎えた)</p>

事例 114

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(女性パトロール隊の結成)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="252 304 762 674"> <p>①</p>  </div> <div data-bbox="788 510 1248 887"> <p>②</p>  </div> </div>	
<p>事例の概要</p>	<p>①ワイヤー置き場と点検状況の確認状況。 ②バックホーの作業計画書と資格免許証の確認状況</p>

事例 115

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>①各工区週間安全目標 ②朝礼会場 ③守らなければならない作業所ルール ④行事関連ポスター ⑤週間行事 ⑥予想される災害と防止対策 ⑦JV年間スローガン及び月間関連行事</p>

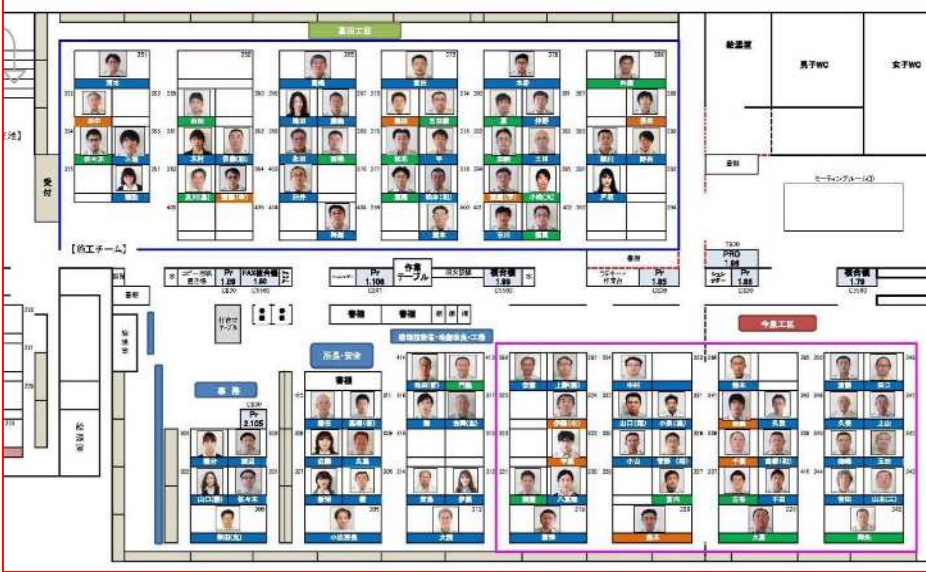
事例 116

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化</p>
 <p>高田地区(全体) 写真: 011624撮影(高田H30.12) 計画年度: 4年度</p> <p>2=1 E. 003 (A3)</p>	
<p>事例の概要 (継続)</p>	<p>事務所及び会議室・打合室に高田地区と今泉地区の工事平面図(場所・街区名・地先名入り)を掲示して打合せ等に利用している。</p>


事例 117

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(全JV職員の動向表の掲示)</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>事務所入口近くに全JV職員の動向表を掲示している。</p>

事例 118

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(顔写真付き座席表の掲示)</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>事務所入口受付カウンター近くに全JV職員の顔写真付き座席表を掲示している。</p>

事例 119

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(安全書類の見える化)</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>日々使用する提出用安全書類を書類ボックスに入れて1か所に収納している。</p>

事例 120

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(スマートウォッチを用いた健康管理)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>事例の概要</p>	<p>現在試行的にごく一部の作業員で使用を行っているが、腕に付けておくだけで血圧・脈拍等を計測し、記録することができる。又、スマホのアプリによる記録管理もできる。今後は、新規受入時の高齢者や血圧の高目な作業員への貸与も検討していく。</p>

事例 121

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(モニター放映での安全教宣)</p>
<div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;">     </div>	
<p>事例の概要</p>	<p>社内(清水建設)発信の安全ポスター等をディスプレイで常時放映して、作業員の安全意識の高揚を図っている。現在は、打合せ会議室と来客用玄関カウンターに設置してある。</p>

事例 122

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(工事パンフレットの更新)
	
事例の概要 (継続)	現場開始以降パンフレットを作成して関係者に配信している。①第3版 ②第4版 初版は平成26年11月にホームページに掲載(http://www.rt-shimzjv.com)

事例 123

タイトル	⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(働き方改革の教宣 (1))
	
事例の概要	事務所内廊下に清水建設(株)東北支店チームの時短の取り組みを掲示している。

事例 124

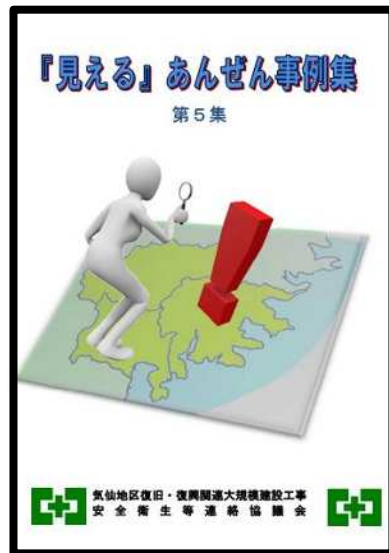
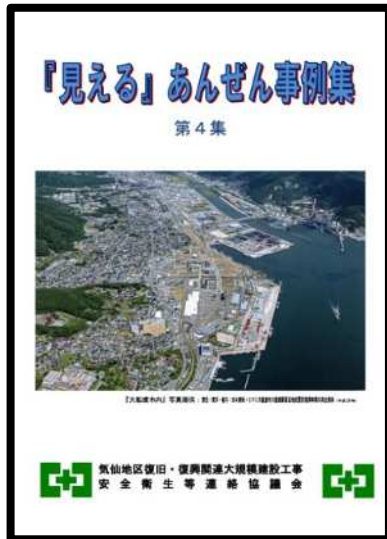
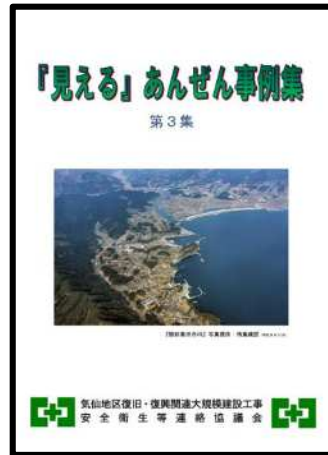
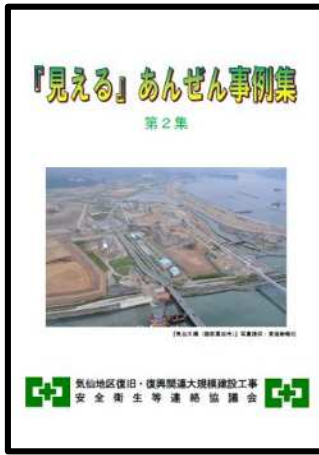
<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(働き方改革の教宣 (2))</p>
	
<p>事例の概要</p>	<p>事務所内廊下に建災防・日建連等の時短の取り組みを掲示している。</p>

事例 125

<p>タイトル</p>	<p>⑤現場で問題意識を持ち取り組んだ見える化(労働基準監督署関連掲示コーナーの設置)</p>
	
<p>事例の概要 (継続)</p>	<p>事務所内に「労働基準監督署」からの情報等を全従業員及び来訪者に伝達することを目的で掲示物のコーナーを設置している。</p>

おわりに

見える化を進めるうえで、第1集～第5集もご参考にしてください。
岩手労働局のホームページから閲覧できます。



厚生労働省でも見える化コンクールが開催されており、過去の優秀賞の事例もホームページ上で閲覧できます。



事例集作成参加事業場

(五十音順、敬称略)

安藤ハザマ・戸田建設・豊島建設特定共同企業体

(二級河川気仙川筋砂盛地区河川災害復旧(23 災 589 号)水門土木工事)

㈱佐賀組

(只出漁港海岸災害復旧(防潮堤)工事)

清水建設㈱・㈱タカヤ特定共同企業体

(岩手県立大船渡病院大規模改修(建築)工事)

清水・西松・青木あすなろ・オエンタルコンサルタンツ・国際航業陸前高田市震災復興事業共同企業体

(平成 27 年度高田地区・今泉地区宅地整備その他工事)

平成 28 年度高田地区高台部宅地整備その他工事)

㈱竹中土木

(二級河川盛川筋塩場地区河川災害復旧(23 災 635 号)右岸 3 工区ほか工事)

㈱竹中土木

(大船渡港跡浜地区海岸防潮堤ほか工事)

東亜建設工業㈱・㈱菊池組・㈱共立土木特定共同企業体

(脇之沢漁港海岸災害復旧(防潮堤)工事)

りんかい日産建設株式会社

(大船渡港清水地区海岸災害復旧(防潮堤ほか)工事)